

時を感じる叙情作品

こよみのよぶね

ゆく年の一年を振り返る。
流れてゆく「こよみのよぶね」を
ながめながら。
くる年の一年に想いを馳せる。
流れてくる「こよみのよぶね」を
ながめながら。

Schedule



冬至迎え

16:00 ~ 17:30 頃
〈鵜飼観覧船のりば〉

刻々と変わる黄昏の空の色を背景にして、
いろいろな色の和紙で彩られた1から12の
数字行燈に明りがひとつずつ灯ります。



出船

17:30 頃
〈鵜飼観覧船のりば〉

船頭さんが船に乗り込み、干支船が先頭で
1月船から順番に2月船、3月船と一隻ずつ、
川岸から船出していきます。



顔見せ

18:00 頃
〈鵜飼観覧船のりば〉

「こよみのよぶね」が長良橋をくぐり、下流から
上がってきます。



お山下楽屋

18:30 頃
〈お山下川原〉

12隻の月船と干支船がお山下の川原で、時を待ちます。



時の流れ

19:00 ~ 20:00
〈長良川右岸プロムナード〉

太鼓の音とともに1月船から順番に上流から「こよみのよぶね」が
流れてきます。「すぎ山」前の川岸に一隻ずつ接岸し、巫女による
「こよみつけ」引き渡しの式が行われます。その後は全ての月船が
金華山を背景にして川面に一列に並ぶ「総がらみ」で締めくくります。



お見送り

20:00 頃

時が流れていきます。10月船の後に、11月船、その後に12月船、
こうして今年の時が過ぎていきます。そして今年の干支である
午（うま）を乗せた干支船も役割を終えて、長良橋の下へと流れて
いきます。今年を振り返りつつ、来年へとつながる時を告げます。



楽日初日

20:30 ~ 21:00 頃
〈鵜飼観覧船のりば〉

終わりは始まりのしるしです。流れ着いた数字行燈を岸にあげて、
解体し次の姿へと繋がります。骨組みの竹から和紙をはがします。
その作業は当日、見にこられた方々も参加できます。
竹からはがした数字行燈の和紙を持って帰って、
そこに願い事を書くと、その数字行燈の月になうとか…
「こよみのよぶね」の想い出にどうぞお持ち帰りください。

2014
12月22日【冬至の日】

[点灯時間] 16:00~20:00 頃

[会場] 鵜飼観覧船のりば付近～
長良川右岸プロムナード一帯

Map



Access 〈JR岐阜駅・名鉄岐阜駅からのアクセス〉

▶バス: 長良橋を経由する岐阜バス【10番・11番・12番のりば】から約15分「長良橋」で下車。大人200円、子ども100円。

▶タクシー: JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から約15分。約1,500円。

【お問い合わせ先】こよみのよぶね実行委員会事務局 tel 058-294-7671 〈12/22当日のお問い合わせは090-1568-9796(加納)まで〉

制作協力: 長良川おんぼく / 長良川もてなし隊 / チーム美濃和紙 / 長良川うかいミュージアムwith長良会 / KASUGA NO.556 / 森林文化アカデミー / LABORATORY / 養老1300 / つくる。 / 本県合併10周年チーム

やながせ倉庫 / ネクスト・ジェネレーションズ / 殿町ハロウィン

写真: 月山 泰一 / 末松 文

<http://www.dnaand.org/> こよみのよぶね 検索